

学 報

(昭和四十三年九月より昭和四十四年十二月まで)

○十月一日 『会報12』発行

○十月二十二日 秋の文学散歩。二回生が久保先生の引率のもとに時代祭を見学。

○十一月二十日 『樟蔭国文学 第六号』発行。

○十一月二十八日 第八回国文学会総会。講演・漱石文学について

大阪外国語大学教授吉川孝次郎先生シンポジウム

『明治文学と現代』 在学生

○昭和四十四年一月三十日・二月一日 卒業論文発表会。四回生が卒業論文についてテーマの選択理由、内容概略、感想等を発表。

○二月二十二日 予餞会。

○三月十八日 ロイヤルホテルにて謝恩会が催された。

○三月二十日 昭和四十三年卒業式。竹島智子ほか七十四名が卒業。

○四月二十四日 新二回生一六名の歓迎会をおこなう。

○四月二十五日 新入生歓迎会。

○五月十五日 二回生が久保先生、竹島助手と共に葵祭を見学。

○六月九日～二十一日 教育実習。四回生六十六名が樟蔭高校・中学及び他校にわかれて実習。

○六月二十四日 第十回国文学会評議委員会。会報、論集、樟蔭国文学の発行、総会、学会の開催について協議。本委員会より学生代表も参加するようになる。

○六月二十六日 三回生文学散歩。原田・嘉部・鈴木・山本先生、永山助手と共に平城宮趾・法華寺・万葉植物園を見学。

○十月一日 『会報13』発行。

○十一月一日 『大阪樟蔭女子大学論集 第七号・国文学分冊』発行。

○十一月十五・十六日 中古文学会秋季大会

会を本学四〇一教室において開かれた。

○十一月二十四日 二回生秋の文学散歩。原田先生、永山助手と共に室生寺方面を散策。

○十一月二十八日 第九回国文学会総会。研究発表

三回生 狭川ふみ 「雄略天皇を中心として」

二回生 飯島志津子 「防人歌」

引き続き『春日大社古舞楽』を鑑賞。

昭和四十四年度国文学科講義題目

国文学概論 久保 重

国文学史概説 原田 芳起

国文学研究 中世歌人論 安田 章生

和歌史論 安田 章生

謡曲 西畑 実

西鶴 木村三四吾

森鷗外 嘉部 嘉隆

近代短歌 安田 青風

近代詩 山根 賢吉

国文学講読

万葉集

宇津保物語

源氏物語手習

紫式部集

中古日記文学

新古今集

俳諧

浄瑠璃

近代の小説評論

国文学演習

源氏物語・明石

源氏物語・桐壺

古本説話集

伊勢物語

式子内親王集

初山踏

夏目漱石

国語学概論

国語学史概説

国語法概論

国語表現論

話しことば

国語科教科教育法

安田 青風

原田 芳起

久保 重

竹内美千代

山本 和子

西畑 実

木村三四吾

横山 正

嘉部 嘉隆

原田 芳起

久保 重

原田 芳起

久保 重

西畑 実

安田 章生

嘉部 嘉隆

原田 芳起

鈴木 一男

島田 勇雄

竹内美千代

山上ミチ子

鈴木 一男

昭和四十三年年度卒業論文題目

芥川龍之介の作品論

伊勢物語研究

平安文学に現われた雅楽器及び舞楽

近松に於ける姦通女性の心理

中島敦の研究

宮本百合子

歌人としての吉井勇

晶子と「恋ごろも」

柿本人麿

樋口一葉の人生と名作

近松心中浄瑠璃の展開

清少納言人物論

石川啄木

和泉式部考―日記を中心に―

徳田秋声『仮装人物』に

おける職業心理について

中務

平家物語―女性についての一考察―

泉鏡花

浅野 通代

厚見美紗子

迹見 隆子

飯田有里子

池端 節子

稻原美智子

今西キワ子

柴林 幸子

小川美千代

大川 園子

逢坂 信子

岡本 敬子

岡本 千寿

奥田 豊美

加藤マサ子

鎌田 益弥

神木きよ子

神崎 順子

堤中納言物語

閑吟集―狂言の小歌を中心として―

太宰治論

信光の能―唐事物を中心に―

大伴坂上郎女の人間像の一考察

源氏物語―女性服装について―

蜻蛉日記研究

明治二十九年の鏡花文学

八代集にみる日本人と雨の歌

鷗外の作品における女性像

『月に吠える』論

阿仏尼研究

―日記文学を中心として―

平家物語に於ける小考察

漱石文学の研究

―作品『明暗』について―

源氏物語の女性―夕顔―

梶井基次郎「檸檬」を中心として

良寛―草庵時代を中心に―

河辺真智代

紀州本広美

北岡心枝子

木村 順子

清田由利子

久保由紀子

栗生美智子

黒川 紀子

黒田 愛

黒田 三枝

小池と志子

小林 裕子

桜井美佐子

塩谷 園枝

志智喜美子

芝山 庸子

白神美恵子



- 香椎潟 第一四号、一五号  
 福岡女子大学国文学会  
 学苑 四三年九月、十月、十一月、十二月  
 四四年一月、二月、三月、四月、五月、六月、八月、九月、十月、十一月、十二月  
 昭和女子大学内 光葉会  
 学術研究 一七号  
 早稲田大学教育学部  
 学大国文 第一二号  
 大阪教育大学国語国文学研究室  
 紀要 第二号  
 調布学園女子短期大学語学研究会  
 紀要 第一二号  
 大谷女子短期大学  
 紀要 第一卷第三号  
 ノートルダム清心女子大学  
 金城国文 四一号、四二号、四三号  
 金城学院大学国文学会  
 研究論集 第三集  
 帝塚山学院大学日本文学研究室  
 神戸山手女子短期大学紀要 一一  
 神戸山手女子短期大学  
 甲南国文 第一六号
- 甲南女子大学国文学会  
 国学院雑誌 四三年七月、八月、九月、十月、十一月、十二月、四四年一月、二月、三月、四月、五月、六月、七月、八月、九月  
 国学院大学  
 国語学研究 第九号  
 東北大学文学部第十合同研究室  
 国語国文学 二三号、二四号  
 名古屋大学国語国文学会  
 国語国文学会誌 第一二号  
 学習院大学国語国文学研究室  
 国語国文学研究 四号  
 熊本大学法学部国語国文学研究室  
 国語国文研究 第四〇号、四一号、四二号、四三号、  
 北海道大学国文学会  
 国文 第三〇号、三一号  
 お茶の水女子大学国語国文学会  
 国文学漢文学論叢 一四輯  
 東京教育大学国語国文学研究室  
 国文学研究 第四号  
 梅光女学院短期大学国文学会
- 国文学研究 三八集、三九集、四〇集  
 早稲田大学国文学会  
 国文学攷 第四八号、四九号、五〇号  
 広島大学国語国文学会  
 国文学篇 六  
 学習院女子短期大学国文学研究室  
 国文学論考 第五号  
 都留文科大学国語国文学会  
 国文鶴見 第四号  
 鶴見女子大学日本文学会  
 語文 三〇輯、三一輯  
 日本大学国文学会  
 語文研究 第二六号、二七号  
 九州大学国語国文学会  
 駒沢国文 第七号  
 駒沢大学国文学会  
 静岡女子大学国文研究 第二号  
 静岡女子大学国文学会  
 実践文学 第三五号、三六号、三七号、三八号  
 実践文学会  
 上智大学国文学論集 二、三  
 上智大学国文学会

- 女子大國文 第五二號、五三號、五四號、  
五五・五六合併号  
京都女子大學國文學会  
女子大文學 二〇号  
大阪女子大學國文學会  
人文研究 第二〇卷第八分冊  
大阪市立大學文學会  
人文論究 第二九号  
北海道教育大學函館人文學會  
親和國文 第一号  
成蹊大學文學部日本文學科  
成蹊國文 第二号  
成蹊大學文學部紀要 第四号  
成蹊大學文學部  
成城大學論集 第一輯  
成城大學學院文學研究科  
成城文芸 第五一號、五二號、五三號、五  
四號、五五号  
成城大學文芸學部研究室  
專修國文 第四号  
專修大學國語國文學会  
玉藻 第四号、五号
- フェリス女學院大學國文學会  
東洋文學研究 一七号  
早稻田大學東洋文學会  
日本歌謡研究 第七号  
日本歌謡學會  
日本文學研究 第八号  
大東文化大學日本文學会  
日本文學誌要 第二一号  
法政大學國文學会  
日本文芸學 第四号  
日本文芸學會  
日本文芸研究 第一九卷三號、四號、第二  
〇卷一號、二號、三號  
関西學院大學日本文學会  
梅花女子大學文學部紀要 第五号  
梅花女子大學文學部  
藤女子大學國文學雜誌 第五号、六号、七  
号  
藤女子大學國語國文學会  
富士論叢 第十四卷一號、二號  
富士短期大學學術研究会  
文學會論集 三九号  
甲南大學文學会
- 文學論集 第一〇号  
佐賀大學理學部  
文學論叢 第四〇号、四一號、四二號、四  
三號  
東洋大學國語國文學会  
文芸研究 第二〇号  
明治大學文學部文芸研究会  
文芸と思想 第三二号  
福岡女子大學文學部  
文林 三號  
松蔭女子學院大學國文學研究室  
平安朝文學研究 第二卷六號、七號  
早稻田大學國文學会平安朝文學会  
別府大學國語國文學 第一一號  
別府大學國語國文學会  
明治大學教養論集 四四、四五、四六、四  
七、四八、四九、五〇、五一、五二  
明治大學教養論集刊行会  
野州國文學 第二号  
國學院大學栃木短期大學國文學会  
立教大學日本文學 二一號  
立教大學日本文學会  
和洋國文研究 第七号  
和洋女子大學國文學会

樟蔭国文学 第七号

昭和四十五年三月十五日印刷  
昭和四十五年三月二十日発行

編集者 大阪樟蔭女子大学  
国文学会  
(代表者 原田芳起)

印刷所 大阪市東区元伊勢町五三六  
共進社印刷株式会社

発行所 東大阪市菱屋西二五八  
大阪樟蔭女子大学  
国文学会